



## 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場取引所 福

上場会社名 トラストパーク株式会社

コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 矢野田 弘

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	5,874	2.3	379	△27.6	282	△39.7	118	△46.0
23年6月期第3四半期	5,740	58.8	524	474.5	468	626.2	219	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 117百万円 (△46.3%) 23年6月期第3四半期 219百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	2,656.70	2,546.32
23年6月期第3四半期	4,937.17	4,895.84

(注) 平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	8,828	703	8.0
23年6月期	6,007	664	11.1

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 703百万円 23年6月期 664百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	4,100.00	—	820.00	4,920.00
24年6月期	—	820.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	820.00	1,640.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年6月期第2四半期の1株当たり配当金は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	21.9	620	18.5	520	16.5	260	42.0	5,836.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	44,545 株	23年6月期	44,545 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	— 株	23年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	44,545 株	23年6月期3Q	44,425 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考)

株式分割に伴う遡及修正値

当社は、平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割を実施いたしました。当該株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の平成23年6月期第2四半期の1株当たり配当金は以下のとおりです。

平成23年6月期 第2四半期末820円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みからは回復しつつあるものの、円高の進行やユーロ圏の財政問題等を受け、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、新規駐車場の開発等についての競合が激しさを増している中、駐車場利用状況は東日本大震災前の水準まで回復しつつある等明るい兆しも見え始めております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力したことに加え、駐車場賃借料の見直し、特に連結子会社である株式会社グランシップの運営駐車場を中心として不採算駐車場からの撤退等に注力した結果、当第3四半期末の駐車場数は、前年同期より9ヶ所増の630ヶ所、車室数は664車室増の23,735車室となりました。

不動産等事業におきましては、新築マンションの引渡し戸数は、前年同期に比べ少ない計画としておりましたが、新築マンション「トラストネクサス虹ヶ浜（山口県光市、総戸数30戸）」が平成23年8月に竣工、全戸引渡しを完了、「トラスト玉名カルディオ（熊本県玉名市、総戸数44戸）」が平成24年1月より順次引渡しを行う等順調に推移しております。なお、第4四半期連結会計期間には「トラスト大濠公園ティアス（福岡市中央区、総戸数37戸）」の引渡し開始を予定しております。

以上の結果、売上高は5,874,888千円（前年同期比2.3%増）、営業利益379,821千円（前年同期比27.6%減）、経常利益282,230千円（前年同期比39.7%減）、四半期純利益は118,343千円（前年同期比46.0%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社子会社であるタウンパトロール株式会社について、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

#### ①駐車場事業

収益力の高い新規駐車場開発の強化を継続的に行ってまいりましたが、当第3四半期連結累計期間において、新規駐車場の開発数は80ヶ所、2,387車室となりました。また、駐車場賃借料をはじめとする駐車場原価の見直し等による既存駐車場の収益力向上、不採算駐車場からの撤退等の効果もあり、売上高は4,196,573千円（前年同期比5.5%増）、営業利益263,270千円（前年同期比41.7%増）と順調に推移しました。

#### ②不動産等事業

新築マンション「トラストネクサス虹ヶ浜（山口県光市、総戸数30戸）」が平成23年8月に竣工、全戸引渡しを完了、「トラスト玉名カルディオ（熊本県玉名市、総戸数44戸）」が平成24年1月より引渡しを開始、ほぼ計画通りに引渡しが推移する等順調に推移しました。しかし、来期以降引渡し予定の新規マンションプロジェクト3件の開始に伴い、広告宣伝費等の販売費及び一般管理費の増加もあり、売上高1,626,564千円（前年同期比7.7%減）、営業利益158,004千円（前年同期比52.6%減）となりました。

なお、第4四半期連結会計期間には「トラスト大濠公園ティアス（福岡市中央区、総戸数37戸）」の引渡し開始を予定しております。

#### ③その他事業

その他事業につきましては、平成23年7月よりJR博多駅前にて大型ビジョンの運営を新たに開始したこと及び前連結会計年度に設立した当社子会社であるタウンパトロール株式会社において、平成23年8月より警備事業に本格参入し、重要性が増したため同社を連結の範囲に含めております。初期投資に係る費用負担等もあり売上高51,749千円、営業損失43,553千円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,057,944千円増加し、4,108,703千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加249,692千円、販売用不動産の増加205,866千円、仕掛販売用不動産の増加635,228千円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,763,657千円増加し、4,720,197千円となりました。これは主に、福岡県福岡市博多区に本社社屋及び隣接する駐車場用地の取得並びに鹿児島県鹿児島市に自走式駐車場の取得等により有形固定資産が1,789,859千円増加、償却によりのがれんが41,676千円減少等によるものであります。

この結果、総資産は8,828,900千円となり、前連結会計年度に比べ2,821,601千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,010,185千円増加し、3,779,137千円となりました。これは主に、買掛金の増加382,484千円、短期借入金の増加109,800千円、1年内返済予定の長期借入金の増加365,252千円、未払法人税等の減少64,966千円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,772,279千円増加し、4,346,341千円となりました。これは主に、長期借入金の増加1,756,208千円等によるものであります。

この結果、負債合計は8,125,478千円となり、前連結会計年度に比べ2,782,465千円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して39,135千円増加し、703,422千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上118,343千円及び配当金の支払73,053千円、子会社1社を新規に連結範囲へ加えたことによる連結範囲の変動額5,519千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は8.0%（前連結会計年度は11.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の通期の業績予想につきましては、平成23年8月8日に公表いたしました「平成23年6月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社子会社であるタウンパトロール株式会社について、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,079,714	1,329,407
受取手形及び売掛金	107,655	116,989
有価証券	12,035	2,037
販売用不動産	—	205,866
仕掛販売用不動産	1,464,081	2,099,309
原材料及び貯蔵品	7,444	10,413
前払費用	322,021	282,998
その他	60,258	63,757
貸倒引当金	△2,450	△2,076
流動資産合計	3,050,759	4,108,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	272,129	1,019,194
土地	1,434,817	2,481,413
その他(純額)	523,266	519,464
有形固定資産合計	2,230,213	4,020,073
無形固定資産		
のれん	309,818	268,141
その他	57,970	52,639
無形固定資産合計	367,788	320,781
投資その他の資産		
その他	359,715	380,390
貸倒引当金	△1,177	△1,047
投資その他の資産合計	358,538	379,342
固定資産合計	2,956,540	4,720,197
資産合計	6,007,299	8,828,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	48,576	431,061
短期借入金	1,487,600	1,597,400
1年内返済予定の長期借入金	466,641	831,893
未払法人税等	156,274	91,308
賞与引当金	—	7,350
ポイント引当金	24,573	24,584
資産除去債務	915	115
その他	584,371	795,426
流動負債合計	2,768,951	3,779,137
固定負債		
長期借入金	1,997,449	3,753,657
退職給付引当金	13,727	18,098
資産除去債務	23,136	22,458
その他	539,748	552,128
固定負債合計	2,574,061	4,346,341
負債合計	5,343,012	8,125,478
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,275	334,275
資本剰余金	104,775	104,775
利益剰余金	225,234	265,003
株主資本合計	664,284	704,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△631
その他の包括利益累計額合計	2	△631
純資産合計	664,286	703,422
負債純資産合計	6,007,299	8,828,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	5,740,748	5,874,888
売上原価	4,428,638	4,555,517
売上総利益	1,312,110	1,319,370
販売費及び一般管理費	787,797	939,549
営業利益	524,312	379,821
営業外収益		
受取利息	578	530
受取配当金	3	241
受取保険料	1,694	986
受取補償金	3,007	115
受取解約違約金	—	5,147
その他	1,778	3,671
営業外収益合計	7,061	10,692
営業外費用		
支払利息	47,001	82,121
支払手数料	12,634	19,159
その他	3,677	7,002
営業外費用合計	63,313	108,283
経常利益	468,060	282,230
特別利益		
固定資産売却益	—	391
特別利益合計	—	391
特別損失		
固定資産除却損	82	—
固定資産売却損	805	—
減損損失	13,522	19,122
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,678	—
特別損失合計	30,088	19,122
税金等調整前四半期純利益	437,971	263,499
法人税、住民税及び事業税	183,289	141,523
法人税等調整額	35,348	3,632
法人税等合計	218,637	145,156
少数株主損益調整前四半期純利益	219,333	118,343
四半期純利益	219,333	118,343



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	219,333	118,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△633
その他の包括利益合計	△0	△633
四半期包括利益	219,333	117,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,333	117,709
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駐車場事業	不動産等 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,977,828	1,762,919	5,740,748	—	5,740,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,780	—	6,780	(6,780)	—
計	3,984,608	1,762,919	5,747,528	(6,780)	5,740,748
セグメント利益	185,783	333,309	519,092	5,220	524,312

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13,078千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「駐車場事業」セグメントにおいて、株式会社グランシップからの事業譲受け及び新たに連結子会社とした株式会社グランシップの株式取得に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、305,425千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,196,573	1,626,564	5,823,138	51,749	5,874,888	—	5,874,888
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,067	—	1,067	14,552	15,620	(15,620)	—
計	4,197,641	1,626,564	5,824,206	66,301	5,890,508	(15,620)	5,874,888
セグメント利益 又は損失(△)	263,270	158,004	421,275	△43,553	377,721	2,100	379,821

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間から当社において広告事業を新たに開始するとともに警備事業を営む非連結子会社であったタウンパトロール株式会社を新たに連結の範囲に含めたため、「その他」の区分に広告事業及び警備事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去18,600千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,500千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19,122千円であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。